



みなさんと議会をつなぐ



# 議会だより

平成 28 年 8 月  
発行：比布町議会  
編集：議会広報特別委員会



PIPPU TOWN ASSEMBLY

**「つなひき」っておもしろいね！楽しいね！くるみ保育園運動会 7月2日**

審議結果「6月定例会」	2～3
ここが聞きたい一般質問	4～7
H28年度全道議員研修会	8
審議結果「4月・5月臨時会」	8～9
常任委員会報告	9～13
議会のうごき	14

# 6月定例会

次のとおり決まりました

6月13日(月)

平成28年第2回定例会は、6月13日に開催されました。平成27年度比布町繰越明許費繰越計算書についての報告、各組合規約の変更について、比布町税条例の一部を改正する条例等、一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、それぞれの補正予算が提出され原案のとおり可決されました。

一般質問には、4人の議員から町政の課題について質問があり、町長及び教育長の考えを問いました。

なお、紙面の都合上、その内容の趣旨のみを掲載させていただきます。

## 報告

### ◆平成27年度比布町繰越明許費繰越計算書

地方自治法の規定に基づき、繰越明許費繰越計算書について報告されるもので、一般会計の情報化促進事業、情報セキュリティ強化対策事業、低所得高齢者臨時福祉給付金給付事業、交流促進施設運営事業で5億4千436万円を平成28年度に繰り越して執行する旨、報告がありました。

## 規約変更

### ◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

### ◆北海道市町村総合事務組合規

## 約の変更について

平成27年11月30日で北空知学校給食組合が解散し、3つの一部事務組合を脱退したため、組合規定の文言の変更等をするもので、原案のとおり可決されました。

## 条例改正

### ◆比布町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律が平成28年3月31日に公布されたことに伴い、比布町税条例の改正をするもので原案のとおり可決されました。

#### 《町民税の主な改正点》

- ①法人税率の改正で地域間の遍在性を是正し、財政力格差の縮小を図るため、現行税率12.1%から8.4%に改めるもの
- ②個人町民税及び法人町民税の

修正申告書の提出に伴う延滞金を計算期間から一定の期間を控除して計算する改正で、平成29年1月1日から施行。

③セルフメディケーション(自主服薬)の推進に係る所得控除の導入に伴う改正で、医薬品購入費から1万8千円を超える金額が医療費控除を受けることができます。この場合現行の医療費控除の適用を受けることができなくなりません。

#### 《固定資産税の主な改正点》

①再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準の特例措置について、固定価格買取制度(FIT)の対象となる太陽光発電設備を除外し、FIT対象外の自家消費型太陽光発電設備を追加し、自然条件によらず安定的な運用が可能な中小水力、地熱、バイオマス発電設備について特例率を拡充し、適用期間を平成30年3月31日まで延長するとともに、地域の事情に応じて減額割合を市町村が判断できるように、わがまち特例が導入されたことによる改正

《地方税制改正等に伴う所要の関連規定の整備、その他の改正》

- ①原動機付き自転車に係る軽自動車税の税率引き上げを1年間

延長する見直し

②一定の環境性能を有する軽自動車について、その燃費性能に応じたグリーン化特例、税率を軽くするための見直し

《特別土地保有税の主な改正点》

- ①課税の特例を3年間延長する見直し

#### 《たばこ税の主な改正》

①旧3級品の製造たばこに係る特例税率の廃止

《その他》

地方税法等の一部を改正する法律により改正された地方税法の条文のずれの改正及び字句の整理

### ◆固定資産評価審査委員会条例の一部改正

行政不服審査法の施行に伴う所要の規定を整備するもので、原案のとおり可決されました。

### ◆比布町国民健康保険税条例の一部改正

平成28年度税制改正の大綱において限度額の引き上げとともに国民健康保険税の軽減措置について、5割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準が改正されたことに伴い国保税条例の一部改正で、原案のとおり可決されました。

### ◆比布町観光施設の設置及び管

理条例の一部改正

びっぷスキー場の施設整備は、必要最小限に止めていますが、今後、利用者の安全と快適なゲレンデ環境を整えるために必要な財源として、リフト料金の改定をするもので、原案のとおり可決されました。

補正予算

◆平成28年度比布町一般会計補正予算(第2号)  
臨時福祉給付金支給事業57

5万6千円、介護保険特別会計繰出金133万6千円、旧蘭留小学校校舎の修繕等、小学校事務費300万円が主な増額内容で、原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定・第1号)  
国民健康保険税の課税標準額

が確定したことによる補正で、569万9千円を減額するもので、原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
後期高齢者医療広域連合納付

金20万円を追加する補正で、原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町介護保険特別会計補正予算(第1号)  
介護保険準備基金積立金49

8万7千円、償還金利子及び割引料、1千33万1千円の増額等が主な補正で、原案のとおり可決されました。

◆平成28年比布町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)  
水道事業に係る建築・土木委

託料280万円の増額で原案のとおり可決されました。

◆平成28年比布町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
下水道事業に係る建築・土木

委託料280万円の増額で原案のとおり可決されました。

第1回愛別町外3町  
塵芥処理組合  
議会臨時会

5月 16日

○監査委員の選任について

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について  
○北海道市町村総合事務組合規約の変更について

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

第1回大雪消防組合  
議会臨時会

6月 14日

○平成28年度大雪消防組合一般会計補正予算について  
○財産の取得について  
○専決処分について(3件)

●●●●● 会計補正額と補正後の総額 ●●●●●

会計区分	補正額	補正後の総額	
一般会計補正予算(第2号)	23,592千円	4,253,592千円	
特別会計	国民健康保険特別会計(第1号)	△5,699千円	651,391千円
	後期高齢者医療特別会計(第1号)	200千円	61,965千円
	介護保険特別会計(第1号)	15,357千円	579,723千円
	簡易水道事業特別会計(第1号)	2,800千円	245,711千円
	公共下水道事業特別会計(第1号)	2,800千円	99,514千円

( ) 内は補正回数

議員構成の変更  
(変更委員会・組合のみ記載)

武井議員御逝去により、欠員になっている常任委員会、各組合議員が新たに選任されました。

◆総務常任委員会

- 委員長 佐藤 康則
- 副委員長 八巻 良博
- 委員 遠藤 ハル子
- 委員 植西 浩一
- 委員 今井 明信

◆議会運営委員会

- 委員長 山内 一彦
- 副委員長 中本 諭
- 委員 佐藤 康則
- 委員 今井 明信

◆愛別町外3町塵芥処理組合議会議員

- 議員 澁谷 興二
- 議員 中本 諭
- 議員 遠藤 ハル子

◆大雪消防組合議会議員

- 議員 澁谷 興二
- 議員 中本 諭
- 議員 佐藤 康則

◆議会広報特別委員会

- 委員長 遠藤 ハル子
- 副委員長 植西 浩一
- 委員 八巻 良博
- 委員 佐藤 康則
- 委員 今井 明信

Q

旧蘭留小学校跡地の活用について

A

女性専用スポーツジムとして利用申請があり  
修繕・整備等を行ないます

中本議員 平成21年3月15日、  
蘭留小学校が閉校となりました。

その後7年が経過し、昭和58年  
に改築された校舎もかなり老朽  
化し、再利用するにはかなりの  
修理が必要と思われます。

谷教育長は平成28年度の教育  
行政執行方針で「旧蘭留小跡地  
利用については今後も町のホー  
ムページや文部科学省のみんな  
の廃校プロジェクトなどで広く  
周知しながら民間などへの利用  
希望者を求めていきます。ま  
た、庁舎内の検討委員会におい  
て、具体的な活用方法について  
協議を進めます」と述べられて  
います。

全国的な少子化の影響で全国  
に数多(あまた)ある廃校のな  
かで、校舎としてグラウンドと  
跡地を活用して頂ける会社及び  
団体をみつける事は大変難しい  
問題と思います。

明治29年「私立渡辺教育所」  
から始まった歴史ある蘭留小学

校の跡地利用についてどのよう  
に考えておられるのかお伺いし  
ます。

谷教育長

蘭留小学校閉校後  
の廃校活用に向けたこれまでの  
経緯については、一年間休校扱  
いとしこの期間の中で蘭留地域  
の皆さんによるアンケートや役  
場内各課での内部検討、更には  
総務常任委員会でご協議をいた  
だき、地域の振興発展を図るこ  
とを目的として、法人、個人の  
別を問わず民間で利用していた  
だくことで、平成22年3月から  
町のホームページでの公募を行  
ない、また、文部科学省の「未  
来につながるみんなの廃校プロ  
ジェクト」に登録をし、全国的に  
周知を図ってきたところです。

昨年11月に蘭留小学校跡地利  
用検討委員会を開催し、その後  
の総務常任委員会でもご意見等  
をいただいた中で、今後2〜3  
年は集中的にPRを行ないそれ  
でも応募がない場合は、取り壊

しもやむなしとの判断をさせて  
いただいたところでありました  
が、その翌月の12月に栃木県宇  
都宮市在住の個人の方から女性  
専用のスポーツジムとして利用  
したいとの申請がありその内容  
について申請者と数度にわたる  
協議を行ない弁護士や旭川東税  
務署と相談を行なうなど申請内  
容を精査のうえ、本年2月に応  
募申請書が提出されました。

本件の応募申請書ではスポー  
ツジムに必要な備品や改修等  
申請者負担は大きな費用を要し  
ますし、事業内容からも継続し  
て運営していくことは大変厳し  
いことが懸念されますが、申請  
者のこの事業にかける思いは非  
常に強いものがり、議会の承認  
をいただければ賃貸借契約に向  
けて事務を進めたいと考えてい  
ます。

中本議員

申請者は女性向け  
のスポーツジムの運営をする  
ということですが、「事業の内容



旧蘭留小学校校舎

から継続して運営をするとい  
うことは大変難しいことが懸念さ  
れる」と答弁されています。

もしこのスポーツジムが撤退  
するとすれば、再募集するの  
か、取り壊すのか、また現在の  
施設の管理の状況についてお伺  
いします。

谷教育長

この施設につきま  
しては、個人の方が使用できる  
最低限のものは町として改修し  
ます。

ここで費用をかける意味から  
も継続して使って頂きたいので  
すが、それが難しいということ  
であればまた改めてPRしたい  
と考えています。

今後申請者の方に使って頂く  
前提として、校舎周りの木の伐  
採や草刈りなど、しっかりと清  
掃、整理した中で開業に向けて  
進めていきたいと考えています。



**植西議員** 高齢者はそもそも技術や知恵を持っている人が多い。そう言う方々を町の人材資源として活用する用意はありませんか。特に子育て支援に指導者として活用することはできませんか。

**伊藤町長** 高齢者の方々には事業団やピポラバンクなど既設の活躍の場があります。放課後に児童とふれあうことは大切ですが、まず既存の活躍の場を充実させた上で移行することが大事だと考えます。

**植西議員** 高齢者事業団もピポラバンクも運用状態が良くないようです。原因は様々あるようですが活動したい方々の意思の尊重がうやむやで「活躍」にはほど遠い状態になっているように思います。

**伊藤町長** 各事業に登録されている方と仕事とのマッチングに問題があることは承知していますがその精度を上げるのは非

常に難しい問題です。

**植西議員** 学校のキャリア教育の一環として高齢者の技術伝承などを継続性をもって、活用できませんか？またそれらのニーズを顕在化させるような公聴会などは必要ありませんか。

**伊藤町長** 単発的には授業の一環として職場体験学習などを実施しています。また、子どもたちや保護者のニーズがどこにあるかは把握していませんが学校や家庭の中で把握されているものと思います。それに対してすべて対応することは難しいため、現状のままで進めていくことが望ましいと思います。

**植西議員** 高齢者が子どもたちとふれあう場所が設けられれば高齢者の生きがいになるのではないのでしょうか。

**伊藤町長** もちろんそうだと思います。しかしながらどのよう具体的に化するかは難しい問題があります。また現状において

学校で行っているキャリア教育で十分でないかと考えております。

**植西議員** 地方創生加速化交付金が創設されましたがこれは画期的な地方創生のアイディアに対して交付されるように聞いています。

高齢者の放課後児童保育への活用というアイディアは対象になりませんか。

**伊藤町長** 具体化するよう担当部課で話しをしてみようと思います。

**植西議員** できないことをできるようにする工夫が地方創生

を進めていく上で必要です。

いろいろなアイディアが出てそれが地方を変えることに繋がると言うようなものであれば、また他に自治体がまだ手を付けていなくて、比布町の特徴にながって行くのであれば是非推進していただきたいと思えます。また、比布町を活性化していく、比布町に人口を増やしていくことに繋がるような事業であれば、出来ない理由を並べるのではなく、どうしたら出来るのかを考えていただきたいと思えます。

**Q** 放課後児童保育への高齢者の活用について

**A** まず、現在の活躍の場を充実させたいうえで移行することが大切だと考えます。





Q 空き家管理システム導入について

A

システムづくりは重要という認識はありますので、

今後流動促進計画に取り組んでまいります

遠藤議員 周辺の生活環境

に悪影響を及ぼし得る空き家の数は全国で毎年約6万4千戸増加しています。空き家をどう特定・活用するのか、そのまま放置するのは持主の判断ですが、有効活用すると財産にもなります。

昨年5月に「空き家・空き地対策特別措置法」が完全実施されましたが、比布町には目視で33件(2014年度調査)。施設に入る人、独居の人など空き家になるケースに対し事前にそうならない手だてが必要だと思えます。

また、空き家の発生を抑制するための特例措置の創設により、相続人が使う見込みのない古い住宅が空き家として放置されるケースには、譲渡時特別控除もあります。これらも生かして優良な空き家に住んでもらえるように促進していくことが、

町内の土地・家屋の資産価値を落とさないことにもつながります。不動産価値のあるうちにと、月に1〜2回の管理業務を引き受ける会社があります。旭川宅建協会、または生活支援見守りなどで行なうことも考えていく時期だと思えますので空き家管理システム導入を検討するのか町長に伺います。

伊藤町長 「空き家等対策の

推進に関する特別措置法」は、適切な管理が行われていない空き家等が、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空き家等の活用のため対応が必要との観点から、平成27年5月から完全実施されたものです。

本法律の施行を受け、市町村は空き家等への調査や特に危険とされる特定空き家に対して、

除却、修繕、措置の助言又は指導、勧告、命令、強制執行が可能となりました。

調査で空地・空き家も移住・定住の受け皿になり得る重要な財産として位置づけ、これまでの町分譲地販売による移住・定住促進政策に加え、昨年度から宅建協会旭川支部と連携を行い、空地・空き家の流動化促進政策に取り組んでいます。

課題はあるものの、空地・空き家を有効活用するためには、管理に限らず、持ち主の状況、希望に合致した包括的な情報を提供するシステムづくりが重要という認識をしています。特に高齢者世帯は、空地・空き家の問題が非常に身近な問題として存在することから、移住・定住担当、地域包括支援センターとの連携を密にして、宅建協会の協力を得ながら必要な情報提供を行い、健康なうちに将来の住

宅の処分方法について、ご家族と共に考えてもらう機会をつくる方策を検討していきます。

遠藤議員 実態調査の中で家屋の分類として、緊急性のない管理不全の家屋、指導が必要な家屋、倒壊などの危険ありの家屋、直ぐ入れる家屋など、このような家屋の判定はしましたか。

伊藤町長 厳密な判断基準を

設けておりませんが危険だという部分については見えています。

遠藤議員 空き家バンクに登録する場合、税務住民課との連携が必要だと思いますが。

伊藤町長 デリケートな部分

がありますので、方法を上手く考えていきます。空き家バンクに登録してはという助言は出来るのかもしれませんが登録数が増えて来ないというのが現状です。

遠藤議員 平成27年度の税制改正で、特定空き家等の所有者等に対して、周辺の生活環境の保全を図るために、当該特定空き家にかかる敷地について、固定資産税の住宅用地特例の対象から除外することとなりましたので、広く周知しては。

伊藤町長 町広報などで広く知らせていきます



**今井議員** 高齢化が進む比布

町内において、近年、SNS等を利用した様々な町のプロモーションが話題になっています。新たな特産品も好評のようであればいい限りです。また、駅のリニューアル、新団地の建設など市街地の活性化が進んでおります。

しかし、同じ町内に居ながら高齢の方が多く住んでいる蘭留地区や東園地区、南地区など行政サービスが十分とはいえない地域もあります。車での移動が必要な地区ですが、いずれは今以上の支援も必要となります。

**伊藤町長** 町の活性化に関して  
通信環境や移動支援を始めとする「住みづらさ」の解消など、どこに住んでも安心して快適に暮らせるサービスを受ける義務と権利が全ての町民にはあります。町長の考えを伺います。また、地区の存続や必要性をどのように考えていますか、併せて伺います。

Q

過疎地域に暮らす町民への行政サービスについて

A

可能な限りの不便を解消するようなまちづくりを進めてまいります。

では特産品などのPRや駅舎のリニューアル等、好評を頂いています。しかし、現実的には各地域において不便を感じている町民の方がいることも承知をしています。今後年齢を重ねることによって不便さを増す状況もあると思っております。長年に渡りご苦労をされながらも、住み慣れた愛着のある地域で、農家世帯数や人口減少により地域交流の低下や、高齢による移動の不便性など、寂しさや将来への不安を抱えていると思っております。

移動手段については「ぴびたく」のあり方も含め、検討が必要と認識しています。制限によりサービスを利用できない方が不満を持たれていることも聞いており、どのような基準でやるのが良いのか、非常に支援の難しさを痛感しており、改めて最良の方法を研究していきたいと考えます。

**今井議員** 全国的にも高齢者が相当数増えています。先に挙げた町内各地区の高齢率も高くなっております。買い物や金融機関

通信環境についても、かなり改善はされてきていると思いますが、光回線サービスについては十分でないことは確かです。この様な状況の中で、不便さを解消することは行政の役目であることは充分認識しています。が、行政だけで解決できないこともあります。

本来、どこに住んでも安心して快適に暮らせるサービスを受けられる権利があることも、その通りだと思いますが、現実問題として、都市部と地方のサービスに差があるように、全ての方が満足する行政サービスを受けられる環境を整えることは、不可能だと考えますが、可能な限り不便を解消するような町づくりを進めてまいります。

**伊藤町長** 地域によっては、車がないと不便さを感じる事は否定はしません。

制約を無くした自由乗車による移動支援の要望も伺っていますが難しい課題です。

有料車両という方法ありますが、民業圧迫等にならないよう議論をし、いろんなことを総合的に考えていく必要があります。

**今井議員** 現実として一人で今の地区に住めない状態になり市街地に移られた方、離農して市街地の住宅に転居される方、仕方がなく他市町へ移らなければならぬ方もいます。それを阻止するためにもコンパクトシティという考え方がありますか。

**伊藤町長** 高齢者の方へ対応できるような建物を研究し、そのような施策をやらなければと考えています。移動手段も含めどのような要望があるのか調査をし次期まちづくり計画を進めたいと考えます。

北海道町村議会議員研修会

札幌コンベンションセンター 平成28年7月5日(火)

7月5日(火)の研修会の1人目の講師は高野誠鮮(じょうせん)教授の「ひとを動かす、まちを動かす」と題した石川県の列車も通っていないような500人の集落を活性化するというお話でした。

その集落で生産される農産物に誇りを持ってもらうための奇策が成功していく過程を細かに語っていただきました。

ローマ法王に食べていただくための奇策、その献上米を高値で販売しました。そして集落の人々の信頼を得た高野氏は住民に若者を育てるための役割を与え、若い人がその集落に住みたくなるようなアイデアを住民



立正大学客員教授  
高野 誠 鮮 氏

自ら考え出すように仕向けます。成功体験の連鎖は住民に希望を与え、自信を復活させそしてその集落が次の世代への引き継ぎができるまでに成長したそうです。

高野氏が強調していたのは、「やったこともないことを「できない」と諦めないことでした。そして人は役割を与えられるといくつになっても輝きだし、その集団も又輝きを増してくるそうです。そこに人が集まり、列車も走っていないその地域さえも若者が少しずつ増えて、人が人を呼ぶようになって活性化していったそうです。

2人目の講師は「ここまでいって委員会」でおなじみの長谷川幸洋氏。東京新聞中日新聞の論説委員をされているそうです。国際情勢を分りやすく、時折ジョークを交え、お話しされました。

印象に残ったのは、「日本が戦後継続している「根回し文化」をしっかりと続け、外交をして



東京新聞・中日新聞論説副主幹  
長谷川 幸 洋 氏

いかなければ、国際競争に追いついていけないと言ってお話です。議会も住民からの公聴をし、しっかりと行政に伝えていけば、まちは少しずつでも前進する。そんなふうに思えました。

《 植西 浩一 》



全道議員研修会の様子  
(札幌コンベンションセンター)

第1回臨時会

4月 20日

◆専決した事件の報告

町道4号道路(栄園橋)の陥没で走行車両に損害を与えたことによる損害賠償報告

◆びっぶスキー場センターハウス

建築主体工事請負契約の締結

2億7千972万円(株)廣野組との工事請負契約の締結で原案のとおり可決されました。

◆びっぶスキー場センターハウス

機械設備工事請負契約の締結

1億173万6千円で(株)木本動力工業所との工事請負契約の締結で原案のとおり可決されました。

◆びっぶスキー場センターハウス

電気設備工事請負契約の締結

5千562万円(山崎電機)との工事請負契約の締結で原案のとおり可決されました。

◆びっぶスキー場第2リフト制

御装置及び照明設備等更新工事請負契約の締結

1億5千508万8千円で日本ケーブル(株)との工事請負契約の締結で原案のとおり可決されました。

ました。



第2回臨時会

5月 24日

委員会の活動

activities

◆みどり町団地A棟建築主体工事請負契約の締結

1億8千36万円で橋本川島・水野経常建設共同企業体との工事請負契約の締結で原案のとおり可決されました。

◆財産の取得（ロータリー除雪車）

3千378万2千400円で北海道川崎建機㈱との財産の取得契約で原案のとおり可決されました。

◆財産の取得（びつぷスキー場センターハウス厨房設備）

885万6千円で㈱マルゼン旭川営業所との財産の取得契約で原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町一般会計補正予算（第1号）

福祉会館壁の劣化による修繕にかかる補正61万4千円で原案のとおり可決されました。

産業建設常任委員会

▼▼▼4月20日開催

◆第1回臨時会提出議案について（P8第一回臨時会参照）

▼▼▼5月24日開催

◆第2回臨時会提出議案について（上記第2回臨時会参照）  
『産業建設常任委員会と農協理事との意見交換会』

▼▼▼4月27日開催

◆比布町の農業振興について  
平成27年度産地パワーアップ事業について

▼▼▼6月3日開催

【商工・観光部門】  
《報告事項》

平成27年度観光事業特別会計（スキー場）収支決算及び利用実績について

（リフト使用料）  
6千435万1千814円  
（昨年）  
6千583万8千500円  
（昨年比）97.74%

・うちナイター利用状況

235万3千530円

2月の雨降りや、営業日の減数等が主な要因。1月は昨年比108.93%

・平成27年度グリーンパークびつぷ収支決算

（使用料等）  
602万7千361円  
（運営費）  
2千70万2千937円  
（差引）

△1千462万5千576円  
今年度よりグリーンパークの運営を新たな調査事項に追加しました。

利用者の減少、新たな利用者の獲得必要等、委託料も含めて検討。

・平成27年度遊湯びつぷの利用状況

（入浴者数、宿泊者数計）  
11万6千153人  
昨年比97.0%

いちご狩り等、イベントの開催について

《協議事項》  
・びつぷスキー場リフト使用料について  
前回の改定以来、10年以上が経過し、また近郊のスキー場の料金等を鑑み、リフト使用料を改定します。

・平成27年度遊湯びつぷの利用状況

商工関係補助事業について

チャレンジショップ事業、振興事業補助や特産品開発事業補助等、昨年度、12件の実績がありました。より利用推進出来る補助事業になるように商工会とも協議します。

【農林部門】

《報告事項》

農産物の作付状況について  
水稻主食米前年比100.1%  
加工・備蓄米98.9%  
作業受委託契約状況について  
比布町集落営農組織 小麦  
（秋）4件、大豆1件、そば18件  
そ菜・花卉作付拡大推進事業  
申請3件

青果物等振興対策事業  
申請5件  
家畜導入推奨事業  
申請2件  
担い手育成事業・移住支援  
申請15件

《協議事項》

町単独補助事業について  
青果物等振興対策事業・青果の各部会に対してこれまで補助事業を行って参りましたが今後は出荷量や会員数、販売額を考えた補助事業を進めます。

・平成27年度遊湯びつぷの利用状況

経営体育成支援事業について

〔建設課〕

《報告事項》

諸工事の発注及び進捗状況について

平成27年度町営住宅管理状況について

管理戸数356戸  
空き住宅46戸

・平成27年度住宅使用料の昨年比 収納率97.65%

・平成27年度水道料金の昨年比 98.73%

《協議事項》

補正予算について

簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計共に将来にわたり安定的に事業推進していくために経営戦略の策定を要請。各会計280万円

〔農業委員会〕

《報告事項》

平成28年度農業委員会活動計画について

平成26年度から規制改革会議により議論された農協・農業委員会の組織制度改革について、戦後64年間続いた公選制を廃止する。

《具体的な活動計画》

- (1) 担い手育成対策
- (2) 地域農業振興対策

(3) 遊休農地対策

農地法及び基盤強化法により農用地集積状況について

総務常任委員会

6月8日開催

〔税務住民課〕

《報告事項》

平成27年度町税等の測定及び収入状況について〔平成28年5月31日現在（収納率）〕

・町民税

1億4千841万5千14円

(94.72%)

・固定資産税

1億2千632万4千67円

(94.39%)

・軽自動車税

999万9千600円

(97.76%)

・たばこ税

2千926万1千248円

(100%)

・国民健康保険税

1億2千431万1千391円

(80.99%)

・介護保険料

9千431万7千800円

(99.12%)

・後期高齢者保険料

3千675万3千400円

(99.72%)

上川広域滞納整理機構について

(構成団体9町、鷹栖町・東

神楽町・当麻町・比布町・愛

別町・上川町・東川町・美瑛

町・美深町)

・全体引受件数239件

1億4千808万8千323円

・内、収入額

5千819万8千248円

(39.29%)

・比布町引受状況17件

648万1千317円

・内、収入額

342万8千442円

(52.89%)

・内、差押件数17件・換価金額

100万3千424円

マイナンバーカード交付状況

等について

・交付枚数152枚(平成28年

1月～平成28年5月末現在)

《協議事項》

比布町税条例の一部改正(案)

について

固定資産評価審査委員会条例

の一部改正(案)について

平成28年度一般会計補正予算

(案)について

・住民基本台帳ネットワークシ

テム事業交付金の増92万円

その他

〔保健福祉課関係〕

《報告事項》

(福祉係)

平成27年度高齢者等の冬の生活支援状況について

対象数 320世帯

助成数 185世帯

助成金額185万円

平成27年度高齢者宅門口除雪

サービス利用状況について

利用数107世帯、出動回数、

郊外地区43回・市街地区30回

業務委託金額607万5千円

平成27年度高齢者支援(びび

タク)利用状況について

登録者数106人、利用実数

1千572回

利用状況 日常55%、通院5

%、集会17%、余暇23%

平成27年度臨時福祉給付金支

給事業状況について

対象件数817件、申請件数

714件87.40%、総支給額

545万4千円

平成27年度子育て世帯臨時特

例給付金支給事業状況について

対象件数215件、申請件数

206件95.80%総支給額

103万2千円

平成28年度くるみ保育園入所

園児数について

男児36名、女児54名、計90名

(保健係)

平成27年度健診結果状況等に

ついて

各がん検診等受診状況について

〈集団・個別〉

・胃がん検査対象人数

2千539人、受診者数

377人受診率14.9%

・肺がん検査対象人数

2千539人、受診者数

484人、受診率19.1%

・喀痰検査対象人数484人受

診者数79人、受診率16.3%

・大腸がん検査対象人数

2千539人、受診者数

521人受診率20.5%

・前立腺癌検査対象人数859

人、受診者数151人受診率

17.6%

・肝炎検査対象人数75人、受診

者数61人受診率81.3%

・子宮がん検診状況について

対象人数1千413人受診者

数286人、受診率20.2%

(クーポン受診率16.7%)

・乳がん検診状況について

対象人数1千297人受診者

数335人、受診率25.8%

(クーポン受診率25.0%)

(衛生係)

平成27年度びっぷクリニック

診療報酬等収納状況について

・窓口件数2万2千141件

2千743万6千106円

・労災、介護等

421万8千348円

・社会保険診療報酬

3千494万7千803円

・国保診療報酬

3億2千790万8千674円

・合計

3億9千451万931円

(介護保険係)

平成27年度介護保険特別会計

決算見込について

・歳入見込額合計

5億6千465万6千134円

・歳出見込額合計

5億5千69万8千791円

・繰越見込額

1千395万7千343円

介護給付費の推移について

(%は前年比)

・平成27年度給付費総額

5億1千740万9千468円

・H23年度前年比+8.2%、

H24年度+3.4%、H25年

度+6.3%、H26年度+

0.1%、H27年度+6.9%

(地域包括支援センター)

平成27年度地域包括支援セン

ター運営実績について

権利擁護業務について

・相談件数(再掲) 虐待9件、

その他4件、計13件

継続的ケアマネージメント支

援業務について

・地域連携、他職種連携

・地域ケア会議の開催16回、関

係機関との連携34回、ケース

検討会6回、ケアマネージメ

ント支援38回、その他62回、

合計156回開催

地域支援事業について

各種介護予防事業

・遊湯体操事業 28回開催

601人参加

・認知症予防事業 17回開催

300人参加

・木曜体操事業 29回開催

1千268人参加

・腔機能向上事業 12回開催

111人参加

・老人クラブ介護予防事業

19回開催 305人参加

・ふまねつと運動 13回開催

246人参加

・認知症予防講話 5回開催

138人参加

・認知症講演会 1回開催

127人参加

・その他講演会 2回開催

194人参加

(国保医療課係)

平成27年度国民健康保険特別

会計決算見込みにについて

・収入

6億6千737万3千565円

・支出

6億6千600万9千757円

・基金積立10万円、繰越見込額

126万3千808円

平成27年度国民健康保険医療

費の状況について

・一般被保険者、27年度月別合

計、35万1千125円

・退職被保険者、27年度月別合

計、5千525円

平成28年度国民健康保険課

割合(案)について

・一人当調定額、13万5千16

8円

・一世帯当調停額21万3千46円

平成27年度後期高齢者医療特

別会計決算見込みにについて

・歳入合計6千111万8千2

円、歳出合計

6千109万6千140円

・次年度繰越金2万1千862円

《協議事項》

6月定例会提出議案について

比布町国民健康保険税条例の

一部を改正する条例(案)につ

いて

一般会計補正予算(案)につ

いて

・民生費 社会福祉総務費

575万6千円

障害者福祉費 450万円

・道支出金 民生費道負担金  
150万円

・予備費 予備費

△569万9千円

・民生費 保険医療費  
200万円

・基金積立金 介護保険事業準備基金積立金498万7千円

・諸支出金 償還金

1千33万1千円

その他

## 【生涯学習課】

### 《報告事項》

平成28年度児童生徒数と学級編制数等について

『中央小学校、全校生徒147名』

・1年生男児7名女児13名計20名

・2年生男児15名女児8名計24名

・3年生男児17名女児18名計35名

・4年生男児8名女児10名計18名

・5年生男児12名女児13名計25名

・6年生男児12名女児13名計25名

・普通教室6学級特別支援学級3学級

・教職員数、定数17名、男性教諭9名女性教諭8名合計17名

『比布中学校、全校生徒90名』

・1年生男子12名女子20名計32名

・2年生男子16名女子11名計27名

・3年生男子18名女子13名計31名

・普通教室3学級、特別支援学

級3学級

級3学級

・教職員数、定数16名 男性教諭11名 女性教諭5名、合計16名

平成28年度スポーツ少年団、公民館教室等の加入状況について

スポーツ少年団合計82名(30名増)

・野球少年団18名(7名増)、ソフトテニス少年団32名(24名増)、剣道少年団19名(3名増)、卓球少年団13名(4名減)、公民館教室合計36名(6名減)

・珠算教室17名(1名増)、書道教室7名(増減0)、将棋クラブ12名(7名減)

・スポーツクラブジュニア17名(2名減)

・児童クラブ32名(6名減)

・白寿大学94名(12名減)

君の夢プロジェクト推進事業について

・中学校修学旅行支援 5月9日～5月11日 首都圏

1日目、東京都庁見学、国会議事堂見学、東京比布会との交流会

2日目、5班編制自主研修

3日目、東京デイズニアカデミー研修

・部活支援

剣道部4名・少年団(6月11日～12日)

国内実力選手による技術指導、菅原小織選手(五段)、三本将太選手(五段)

事業費13万3千660円

・野球部13名(7月10日開催予定)プロ野球トレーニングコーチによる野球教室、打撃練習、札幌ドームでのプロ野球観戦

事業費17万4千140円

・吹奏楽部27名(現在未定)

・ソフトテニス部23名(現在未定)

・卓球部12名(11月下旬で調整中)

ほかかいどう学力向上『小中連携・一貫教育実践事業』について

平成28年度比布町立中央小学校・比布中学校連携計画について

・目的、学習指導、生徒指導、生き方指導を小中学校が連携することにより、義務教育9年間育成すべき児童・生徒の資質や能力を身につける。

・スクールカウンセラーの配置について

《協議事項》

平成28年度教育費補正予算(案)について

・教育費、学校管理費、300万円、蘭留小学校校舎等後地利用に係わるもの その他

## 【総務企画課】

### 《報告事項》

第2回定例会出席議案について

平成27年度町債確定について

・過疎対策事業債

2億5千400万円

ハード分1億5千360万円

〈財務省〉

ソフト分1億40万円(財務省)

・臨時財政対策債

1億858万4千円(財務省)

・公営住宅建設事業債

1億1千870万円

西町駅前団地

1億170万円(振興協会)

くろみ団地1千700万円

〈旭川信金〉

・簡易水道事業債 760万円

・特定環境保全公共下水道事業債80万円

平成28年度町債申請状況について

・過疎対策事業債

7億998万8千円

ハード分6億4千913万4千円(簡水・下水含)

ソフト分6千85万4千円

・臨時財政対策債9千万円

・公営住宅建設事業債

2億6千833万円

・簡易水道事業債

2千763万2千円

- ・特定環境保全公共下水道事業 債205万2千円
- ・ふるさと納税について  
目的別納税（寄附）金額（平成20年からの累計）
- ・子育て教育 623万8千円31件
- ・高齢者福祉 173万3千1円36件
- ・自然環境 35万5千円19件
- ・産業振興 1千614万円26件
- ・その他 597万5千円34件
- ・未記入 936万8千円
- ・平成27年度累計金額 3千980万9千1円、175件、139人
- ・事業充当状況
- ・平成22年度市街地駐車場整備事業に300万円充当
- ・平成24年度中学校楽器購入に95万3千円充当
- ・平成25年度突哨山案内看板に11万5千円充当
- ・平成26年度公共駐車場フェンス設置、他8事業 1千630万3千円充当
- ・平成27年度駅改築事業、まちづくり研修事業基金に積替え 936万5千円
- ・平成28年度駅改築事業（外構整備）他4事業509万円充当
- ・平成28年3月31日現在残高 503万8千円

## 6月1日からのふるさと納税について

- ・民間情報発信ポータルサイトを導入し比布町の情報、特産品や町の魅力を更に広角的に発信します。

## 地方創生交付金事業（地方創生加速化交付金）について

### 目的

- ・一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、「希望を生み出す強い経済」を実現するため、「地域のしごと創生、稼ぐ力、地方創生を推進する人材育成」に重点がおかれ、特に官民連携や民間活力の強化が重視されている。
- ・1次審査に観光施設整備による雇用創出を目的としたスキー場センターハウス（仮称）の備品整備を申請したが不採択であった。
- ・1次申請に不参加だった自治体及び不採択を受けた自治体を対象に、2次審査の申請が開始される。
- ・比布町の地方創生を最大の目的とし、新たな事業を検討し次の審査に申請をする。
- ・比布駅グランドオープンについて
- ・9月4日開催予定・内容は関

係団体と協議中。

## 町PR制作番組とラジオ番組放送について

- ・映像を通じて街の農業や食、観光をドラマ化し放映する、更にラジオを通じて町の話題やイベントなども紹介する。

## 放置自転車対策について

- ・びっぷ駅前輪場に長期間放置されている自転車を（景観・防犯の配慮をし）道警と協議のうえ所有者に戻す事を基本に処理を行う。

### 《協議事項》

## 民間賃貸住宅建設支援について

- ・平成27年度策定比布町人口ビジョンにおいて、町外から通勤されている方が300名以上おられること、また子育て世代アンケートでは女性が働ける場と賃貸住宅の整備があげられ、比布町総合戦略において新規民間住宅建築24戸を目標に本年度補助金が予算化されました。
- ・予算計上額3千200万円（1棟8戸）2企業が新町とくろみ団地跡地に建設予定。
- ・平成27年度繰越明許費について  
総務費、総務管理費、情報化促進事業、2千970万円
- ・民生費、社会福祉費、低所得

高齢者臨時福祉給付金給付事業 2千473万6千円、計5千443万6千円を平成28年度にそれぞれ繰り越される。北海道広域組合規約の変更3件

- ・平成28年度補正予算（案）
- ・総務費、総務管理費、諸費、熊本地震関係見舞金20万円
- ・その他

## 総務常任委員会を終了して

去る5月20日、副委員長の武井議員が疾患に倒れ、44歳の若さで生涯を遂げられました。

心よりお悔やみ申し上げますと共に、今は唯々ご冥福をお祈りいたします。



平成27年7月 常任委員会視察研修会での元氣な武井議員の様子

# ◆◆◆ 議会のうごき ◆◆◆

## 5 月

- 9日 道北地方林活議連絡会総会  
(旭川市、産建委員長)
- 10日 高規格旭川・紋別自動車道期成会総会  
(紋別市、議長)
- 11日 比布商工会通常総会 (商工会館、議長)
- 16日 愛別町外3町塵芥処理組合議会臨時会  
(愛別町、組合議員)
- 24日 産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)  
議会運営委員会 (役場、各委員・議長)  
第2回臨時会 (役場、全議員)
- 27日 比布deエレキバン杯パークゴルフ大会  
(グリーンパークぴっぴ、議長)  
上川中央部市・町議会議長会定例会議  
(東川町、議長)
- 29~31日 全国議長会議長・副議長研修会  
(東京都、副議長)

## 6 月

- 1日 観光振興協議会 (役場、議長)
- 2日 上川地方総合開発期成会総会及び専門部会  
(旭川市、議長)
- 3日 産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)
- 8日 総務常任委員会 (役場、各委員・議長)
- 9日 全道町議会議長会定期総会 (札幌市、議長)

- 10日 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)
- 13日 第2回議会定例会 (役場、全議員)
- 14日 大雪消防組合議会臨時会 (美瑛町、組合議員)
- 16日 老人スポーツ大会 (町体育館、議長)
- 19日 自衛隊第2師団66周年・旭川駐屯地開設64  
周年記念行事 (旭川市、議長)
- 21~22日 上川町村議会議長会役員会 (東神楽町、議長)
- 24~26日 東京比布会総会 (東京都、議長)

## 7 月

- 3日 <るみ保育園運動会 (町体育館、議長)
- 5日 全道町村議会議員研修会 (札幌市、全議員)
- 8日 第3回大雪分会消防訓練大会  
(改善センター、各議員)
- 10日 札幌比布会総会 (札幌市、各議員・議長)
- 14日 青果振興会現地視察 (町内、産建各委員)
- 15日 議会広報特別委員会 (役場、各委員)  
総務常任委員会 (役場、各委員・議長)  
産業建設常任委員会 (役場、各委員・議長)  
議会運営委員会 (役場、各委員・議長)  
第3回議会臨時会 (役場、全議員)
- 24日 自衛隊旭川地方協本部創立10周年記念祝賀会  
(旭川市、議長)
- 26日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

### ■武井邦義議員の ご冥福をお祈りいたします■



平成27年5月から比布町議会議員として比布町の発展のために志を抱き、今まで以上に活躍を期待されておりました武井議員ですが、今年の4月末頃から体調を崩され、5月6日に緊急入院し、懸命な治療にもかかわらず、44歳の若さでご逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。

参議院選挙の結果は、国民の意思を反映されたものになったでしょうか。地方自治体が担う行政に今後、どのように及んでくるのか、暮らしが豊かになっていくことを願っています。

比布町の夏も暑さ真つ盛りです。自転車に乗っていると旭川以外の車のナンバーをチラホラと見かけます。「駅はどこですか」「ピザの食べられる喫茶があるところはどこですか」など道を尋ねられます。看板が必要ですが、観光交流人口が増えるよう1年を通じての魅力が必要で、一人ひとりが暮らしの中で楽しんでいくことの点と線がつながっていく事ができればいいなと思っています。

高齢者が元気な街、子育てしやすい街、働く人が住んでみたい街として魅力発信をさらに続けていくように頑張りたいと思います。

(遠藤 ハル子)

## ◆ 編集後記 ◆